

＜大会プログラム＞（第3版）

3月14日（土）

●10：00以降随時 受付（教育文化学部3号館ピロティ）

●11：00～12：30 理事会（3階 講義室318）

●11：20～12：50 学生企画シンポジウム（60周年記念ホール）

＜スポーツとテクノロジーの関係性を問う＞

登壇者 久保明教（一橋大学） 中村真博（立教大学大学院） 宮澤 武（筑波大学大学院）
司 会 平賀 慧（筑波大学大学院）

●13：00～15：00 一般研究発表A

A- 会場1：2階 講義室254：＜スポーツと地域＞ 座長：水上博司（日本大学）

14A1-1：加藤 森（立教大学大学院） 松尾哲矢（立教大学）

総合型地域スポーツクラブによる地域コミュニティ形成に関する研究
ークラブ会員の意識・行動の変容に着目してー

14A1-2：伊藤 葵（富山国際大学）

総合型地域スポーツにおける支援体制の在り方と今後の課題
ー富山県射水市の総合型地域スポーツクラブの設立と発展における分析ー

14A1-3：多田 茂（順天堂大学）

スポーツ活動を通じた健康な自治体の建設は可能か
ー南西ドイツのある町を対象とした住民の健康・運動データに基づく25年に及ぶ縦断的
研究プロジェクトー

14A1-4：下窪拓也（東北大学大学院文学研究科博士後期課程）

2000年以後のスポーツ参加者の推移と変動
ー社会調査データの二次分析を通じてー

A- 会場2：2階 講義室255：＜スポーツと教育＞ 座長：高橋豪仁（奈良教育大学）

14A2-1：松田恵示（東京学芸大学）

不登校の子どもたちと教育支援センターにおけるスポーツ活動

14A2-2：山内朋也（東京学芸大学大学院）

体育授業における「主体性」再考

14A2-3：長澤瑞木（東京学芸大学大学院）

プログラミング教育における身体活動の可能性と課題
ー教育先進国と日本のプログラミング教育比較からー

14A2-4：尾島 祥（関西大学大学院人間健康研究科博士課程前期課程）

小学校体育授業における発達にともなう遊び要素の変化

A- 会場 3 : 3 階 講義室 343 : <スポーツ組織> 座長 : 笠野英弘 (山梨学院大学)

- 14A3-1 : 上野浩暉 (立教大学大学院) 松尾哲矢 (立教大学)
日本スポーツ界における学生連盟の役割変容過程とその要因に関する研究
- 14A3-2 : 中澤篤史 (早稲田大学) 星野 映 (早稲田大学・研究員)
戦後の中学校・高校競技大会に関する資料検討
— 『運動年鑑』 (1948-1953) および 『スポーツ年鑑』 (1954-1967) を用いて—
- 14A3-3 : 張 寿山 (明治大学, スフィード世田谷 F C)
スポーツ団体の法人格としての協同組合モデルの検討
— 英国におけるスポーツ団体の法人格を参考にして—
- 14A3-4 : 海老島 均 (成城大学)
スポーツの公共性形成に向けての民間スポーツ組織の役割に関する研究
— イギリスのユース・スポーツ・トラストに焦点を当てて—

A- 会場 4 : 3 階 講義室 344 : <スポーツと身体> 座長 : 中江桂子 (明治大学)

- 14A4-1 : 倉島 哲 (関西学院大学)
社会的所与の身体化ではない上達を捉える
— 太極拳推手における集合的創造性—
- 14A4-2 : 岡田光弘 (成城大学・非常勤講師)
スポーツ・コーチングの親学問としてのビデオ・エスノグラフィー
- 14A4-3 : 本郷正武 (桃山学院大学)
鉄剤注射にみるエンハンスメントの受容と拒絶

● 15 : 10~16 : 40 実行委員会企画講演 (60 周年記念ホール)

<ベルリン五輪からそれは始まった——現代史のなかの熱狂・抵抗・ボランティア>
演 者 池田浩士 氏 (京都大学名誉教授)

● 16 : 50~18 : 20 学会総会 (60 周年記念ホール)

● 9:00~10:30 一般研究発表B

B- 会場1:2階 講義室254: <ラグビーW杯> 座長:海老島 均(成城大学)

- 15B1-1: 松林秀樹(平成国際大学)
釜石市におけるラグビーワールドカップ開催①
—釜石市・RWC・質問紙調査の概要—
- 15B1-2: 高尾将幸(東海大学)
釜石市におけるラグビーワールドカップ開催②
—ラグビーに関する経験・記憶に基づく分析—
- 15B1-3: 向山昌利(流通経済大学)
釜石市におけるラグビーワールドカップ開催③
—住民のラグビーワールドカップ「受容」過程—

B- 会場2:2階 講義室255: <ローカルスポーツ> 座長:金 明美(静岡大学)

- 15B2-1: 岡本純也(一橋大学大学院経営管理研究科)
グローバルに広がる民俗舞踊の創出を支えたシマ社会の文脈
—沖縄の盆踊り「エイサー」の戦後の普及に着目して—
- 15B2-2: 菅原大志(東北大学大学院)
行為と「潜在的な共同性」
—混住化地域のローカルスポーツに注目して—
- 15B2-3: Wai-man TANG (The Chinese University of Hong Kong)
Minortization of an Indian Sport: Kabaddi Development in Japan

B- 会場3:3階 講義室343: <障害者スポーツ> 座長:吉田 毅(桐蔭横浜大学)

- 15B3-1: 奥田睦子(京都産業大学)
健常者の障害者スポーツ体験がもたらす障害者理解の背景に関する一考察
- 15B3-2: 檜田美雄(神戸市看護大学)
障害社会学の立場からの障害者スポーツ研究の試み
—社会モデルを障害社会学的に乗り越える—
- 15B3-3: 石井 克(北海道大学大学院博士後期課程) 山崎貴史(北海道大学)
障がい者スポーツに関する新聞報道の分析
—用語「アスリート」を例に—

B- 会場4:3階 講義室344: <スポーツとメディア> 座長:橋本純一(信州大学)

- 15B4-1: 小石川 聖(早稲田大学大学院)
連続写真とスポーツ
—戦後の出版メディアと野球を対象にして—

15B4-2 : 時田 瞳 (日本体育大学大学院体育科学研究科博士後期課程)
オリンピック競技大会におけるメディア表象に関する研究
—2018年第23回オリンピック冬季競技大会(平昌)を事例として—

15B4-3 : 森津千尋 (宮崎公立大学)
平昌五輪はどのように語られたのか
—日本の新聞3紙の言説分析—

●10:40~12:40 一般研究発表C

C- 会場1:2階 講義室254: <ユーススポーツ> 座長: 中澤篤史 (早稲田大学)

- 15C1-1 : 中島 輝 (立教大学大学院) 松尾哲矢 (立教大学大学院)
「自治」からみた運動部活動における自主性・主体性形成に関する研究
- 15C1-2 : 魚住智広 (北海道大学大学院教育学院)
部活動研究における競争/居場所の論理の再考
- 15C1-3 : 三角さやか (関西大学大学院人間健康研究科博士課程前期課程)
子どもをスイミングクラブに通わせる保護者の文化資本の再生産
- 15C1-4 : 田嶋大樹 (東京学芸大学大学院博士課程)
「二重に読む」ことの社会学
—放課後児童クラブの運動文化—

C- 会場2:2階 講義室255: <スポーツとテクノロジー> 座長: 岡本純也 (一橋大学)

- 15C2-1 : 眞鍋隆祐 (彰栄保育福祉専門学校)
AR技術により実現されるテクノスポーツ「HADO」についての研究
- 15C2-2 : 刑部幸優多 (東京学芸大学大学院)
VRと「みるスポーツ」の社会的変容
- 15C2-3 : 高橋真央 (東京学芸大学大学院)
VRと視点移動がもたらすスポーツ行為の学習可能性
- 15C2-4 : 戸田季呂 (東京学芸大学大学院)
シミュレーター型アトラクション「ソアリン」の体験における社会学的、現象学的考察

C- 会場3:3階 講義室343: <スポーツと政治> 座長: 水野英莉 (流通科学大学)

- 15C3-1 : 清宮孝文 (日本体育大学大学院体育科学研究科博士後期課程)
依田充代 (日本体育大学)
体育系大学生のスポーツボランティアに対する認識
- 15C3-2 : 石田智佳 (日本女子大学大学院)
オリンピックカヌー競技場建設と葛西臨海公園の開発
—野鳥の会東京支部の実践に着目して—
- 15C3-3 : 加藤朋之 (山梨大学)
東京高等師範学校フットボール部編「アソシエーションフットボール」が生み出したもの
—我が国のサッカーの伝播における教育ヘゲモニー獲得戦略—

15C3-4 : 平石貴士 (立命館大学) 市井吉興 (立命館大学)

ライフスタイルスポーツの「競技化」と「取り込み」をめぐるカルチュラルポリティクス
ーパルクール・スポーツ化・商業化ー

12 : 40~13 : 30 ランチ休憩

●13 : 30~15 : 30 研究委員会企画シンポジウム (60周年記念ホール)

<復興とスポーツ、五輪>

登壇者 : 鈴木玲子 (東北福祉大学)

むらかみ みちこ (NPO FIRST ASCENT JAPAN)

金菱 清 (東北学院大学)

指定討論者 : 向山昌利 (流通経済大学)

司 会 : 大沼義彦 (日本女子大学)

●15 : 30~16 : 00 クロージング (60周年記念ホール)